

ランプチェンジャー(直管蛍光灯 プッシュ式)

取扱説明書

このたびは、デンサン ランプチェンジャー(直管蛍光灯 プッシュ式)をお買い上げいただきましてまことにありがとうございます。
ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読みにになり指示に従って正しく使用してください。
お読みになった取扱説明書はお使いになる方がいつでも見れる所に保管してください。

DLC-330-PS (クランプヘッド + 3.3mポールのセット)  全長：3.4m(伸長時)、2m(収納時)、 質量：1.5kg	DLC-PS (クランプヘッドのみ)  全長：W300×H270×D40mm、 質量：0.8kg お持ちのランプチェンジャー・ポールに取付けてご使用ください 注) 使用は約 3mまでの高さに限ります
---	---

この製品の特長

- 約3mまでの高さにある直管蛍光灯(プッシュ式)の蛍光灯交換ができます。
- ポールはアルミ製で軽く、操作も楽々

適合する蛍光灯

FL、FLR、FHF、T8 形
(管径：φ25 ～ 32.5mm)
18W～ 40Wの直管蛍光灯に適合する



この製品は直管蛍光灯の器具の「プッシュ式」専用です。「回転式」等他の器具には使用できません。



プッシュ式



回転式

安全上の注意



危険

この表示は「誤った取扱いをすると人が死亡、又は重傷を負う危険性が非常に差し迫って生じる可能性がある」内容を示します

- 必ず蛍光灯の電源を切ってから作業してください。
- 高圧電線が近くにある場所での使用はお止めください。感電や重大な事故の原因になる恐れがあります。



警告

この表示は「誤った取扱いをすると人が死亡、又は重傷を負う可能性がある」内容を示します

- 蛍光灯(ガラス)の割れているものやキズついているもの(クラックなど)には使用しないでください。
- 不意の落下物等で目を怪我する恐れがあります。蛍光灯交換の作業はヘルメット、保護メガネ、手袋を着用し、必要であれば養生シートなどで保護してください。周囲に人がいない事を確認してから作業を行ってください。
- やけどの恐れがあります。蛍光灯の交換は必ず電源を切り、蛍光灯が冷えてから行ってください。
- ポールは垂直に立てて使用し、伸ばした状態で横倒しにしないでください。
- 形状と寸法に適合しない蛍光灯には使用しないでください。



注意

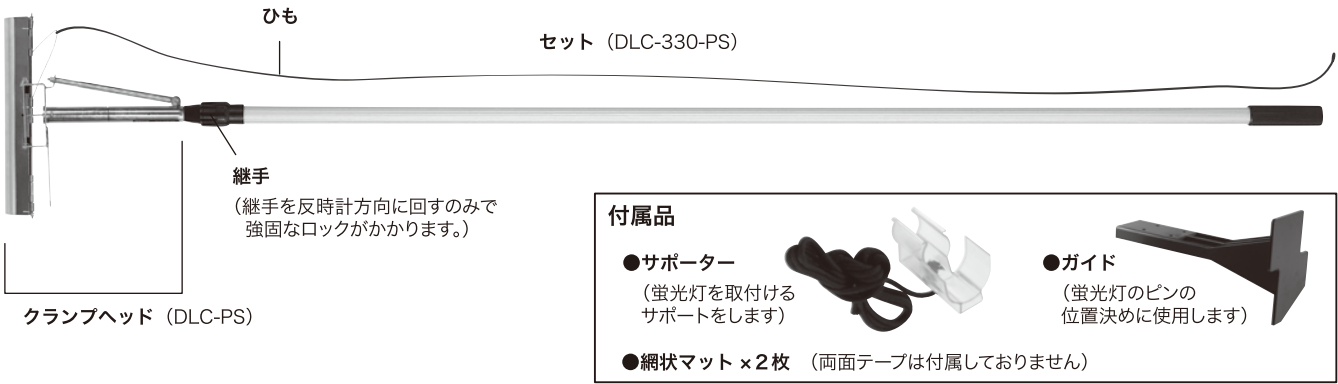
この表示は「誤った取扱いをすると人が傷害を負ったり、物的損害が発生したりする可能性がある」内容を示します

- ご使用前に部品のゆりみがないか、破損箇所はないか等の始業前点検をして安全確認後にご使用ください。
- 蛍光灯交換できない構造の器具もあります。
- この製品は約3mまでの高さに対応しています。それ以上の高さでの使用はお止めください。
- 本製品はプッシュ式の器具専用です。回転式の器具は交換できません。
- 蛍光灯の表面にほこり、汚れなどがある場合グリップ力が低下し交換できない場合があります。
- ポールを必要以上に締めすぎるとロック機構を破損する恐れがありますので注意してください。
- 継手部分は指先で軽く締めるだけでロックできます。あまり強く締めると戻しトルクが大きくなり緩まなくなります。
- 継手を緩め過ぎるとスライドが開放状態になり急激に落下して指をつめるなど傷害の恐れがあります。継手は少し緩めるだけにして、スライド抵抗のある状態でポールを押し下げてください。
- 清掃時は軽く湿った布巾で拭いてください。絶対にシンナーなどの溶剤を使用しないでください。溶剤による界面破壊を誘発しますので注意してください。
- シンナーなどの溶剤雰囲気中に長期保存しないでください。界面破壊の危険性があります。

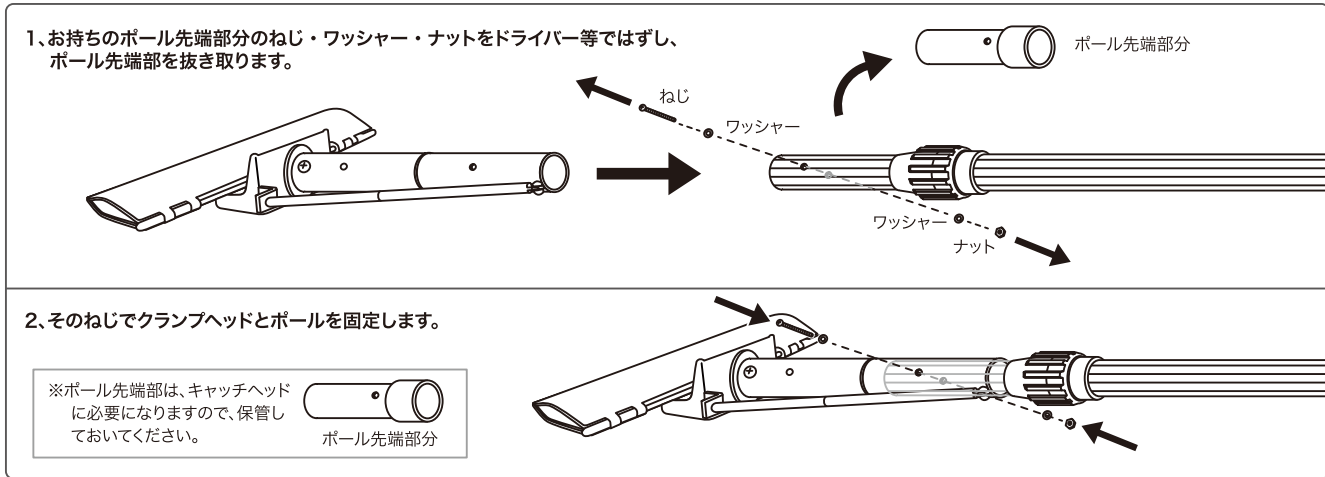
使用上の注意

- 保管に際しては直射日光のあたる場所や高温多湿の場所を避けてください。
- クランプヘッドの網状マットが汚れている場合は軽く湿った布で清掃してください。(ほこりによるグリップ力低下)
- 交換する蛍光灯が汚れている場合は清掃し、ほこりを除去してから交換してください。(滑り防止)
- ひもは強い力で引くため、使用回数を重ねることに劣化します。使用前に強度を確認し、早めの交換をしてください。

各部名称



クランプヘッドの取り付け (DLC-PS)



網状マットの交換方法

(※両面テープは付属しておりません)

- 網状マットのグリップ力が低下したら交換してください。
- ① ひもを引張り、クランプヘッドに木片等を挟み、開いた状態にします。
 - ② クランプヘッドの網状マットをはがします。
 - ③ 付属の網状マットに市販の両面テープを貼ります。
※両面テープは付属しておりませんので別途ご用意ください。
超強力両面テープ No.501MN(株式会社ニトムズ)相当品をおすすめします。
 - ④ クランプヘッドに新しい網状マットを貼る。



ご使用前に

⚠ ご使用前に

- 使用方法(本取説)の内容、手順をよくお読みになってから作業してください。
- 不意の落下物等で怪我をする恐れがあります。蛍光灯交換の作業中はヘルメット、保護メガネ、手袋を着用してください。
- クランプヘッドと蛍光灯の保持具合をご確認ください。
- 蛍光灯交換の作業は蛍光灯の真下から行ってください。斜めの位置からでは交換できません。
- 蛍光灯の表面にほこり、汚れなどがある場合グリップ力が低下し交換できない場合があります。

使用方法

ポールの伸縮について

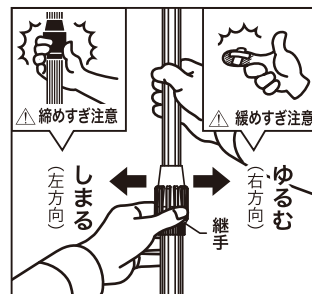
a 継手をゆるむ方向(右方向)に少し回せば簡単にスライドします。

緩める時は上側のポールを持ち、継手は少しだけ緩め、抵抗のある状態でポールを押し下げます。ポールを立てた状態で継手を緩め過ぎると、開放状態になり上側のポールが急激に落下して、指をつめるなど傷害の恐れがあります。

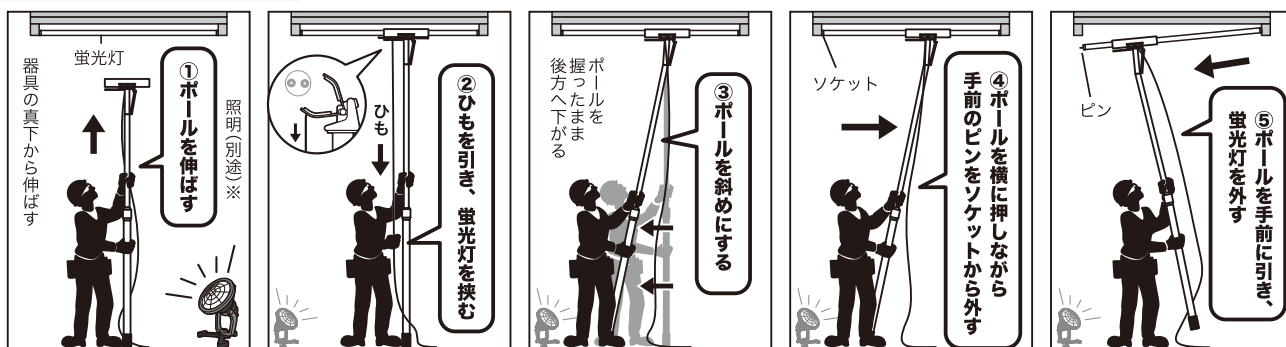
b 継手を左方向に回すことで、ポールを固定できます。

継手部分は指先で軽く締めるだけでロックできます。スライド方向へのロック強度の限界は約15kgf(約147N)です。

あまり強く締めると戻しトルクが大きくなり緩まなくなったり、継手の破損の原因となります。



蛍光灯の取り外し方法



※周囲が暗い場合は、照明(別途)にて照らしてください。暗いと作業が困難になります。



クランプヘッドのひもを引張る時は、バネの力が強いので注意してください。

① ポールを伸ばす

ポールを床に着けた状態で、垂直に伸ばします。
作業は必ず器具の真下から行ってください。(図1、2参照)

② ひもを引き、蛍光灯を挟む

ひもを下に引いて、クランプヘッドを開き、蛍光灯を挟みます。
(図3、4参照)
ポールを床に着けた状態でひもを引張り、充分にクランプヘッドが開いた状態でポールと一緒に握り、蛍光灯を挟んでください。

③ ポールを斜めにする

少し後ろに下がり、ポールを斜めにすることで、押す時に力が入れやすくなります。

④ ポールを横に押しして蛍光灯を外す

蛍光灯を横に押すことで、もう片方のピンがソケットから外れやすくなります。(図5参照)

⑤ ポールを手前に引き、蛍光灯を外す

ポールを手前に引き、反対側のピンもソケットから外します。

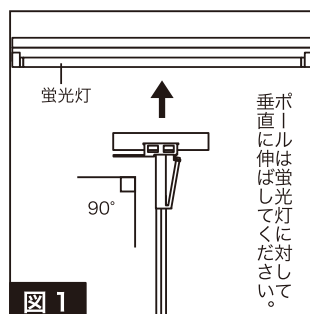


図1

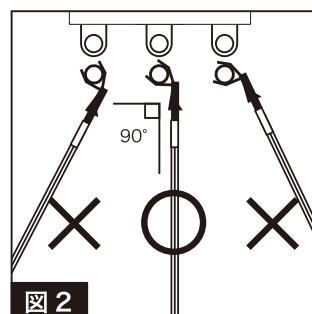


図2



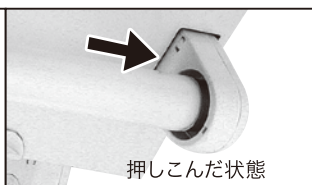
図3



図4

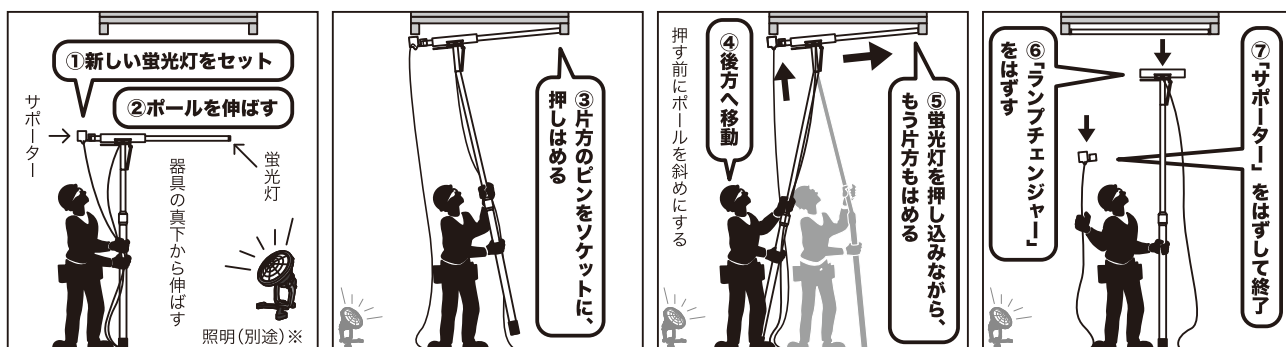


図5



押しこんだ状態

蛍光灯の取り付け方法



※周囲が暗い場合は、照明(別途)にて照らしてください。暗いと作業が困難になります。

⚠ クランプヘッドのひもを引張る時は、バネの力が強いので注意してください。

① 新しい蛍光灯をセットする

「ガイド」と「新しい蛍光灯」を「クランプヘッド」に取り付けます。

「ガイド」でピンの向きを合わせます。

上下の向きを変えて「一灯式器具用」と「二灯式器具用」に対応します。

- ・「一灯式器具用」はピンを水平にします。
- ・「二灯式器具用」はピンを斜めにします。

(図 6 参照)

「ガイド」を外し、「サポーター」を蛍光灯に

取付けます。(図 7 参照)

「サポーター」を使用すると、ソケットにはめ込んだ時にガイドになり、ピンを入れやすくなります。

② ポールを伸ばす

③ 片方のピンをソケットに押しはめる

「サポーター」の付いていない方から、ソケットに蛍光灯のピンを入れます。

④ 後方へ移動する

少し後ろに下がり、ポールを斜めにする事で、押す時に力が入れやすくなります。

⑤ もう片方のピンをソケットに押しはめる

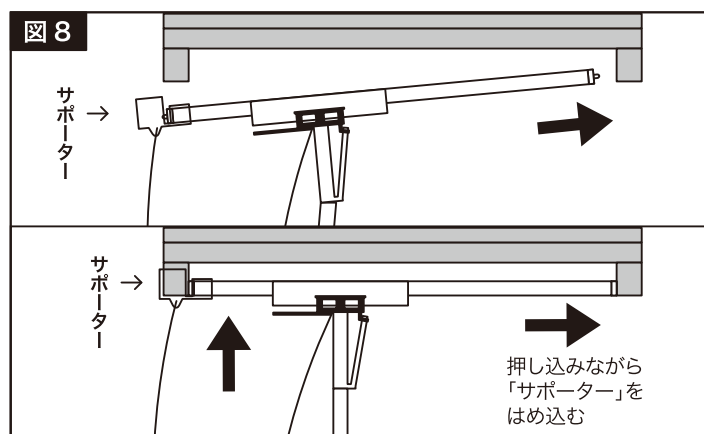
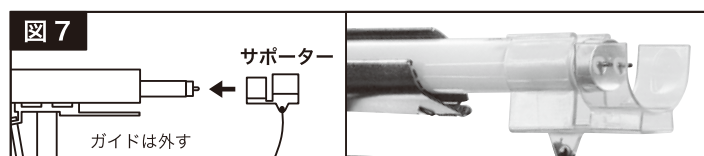
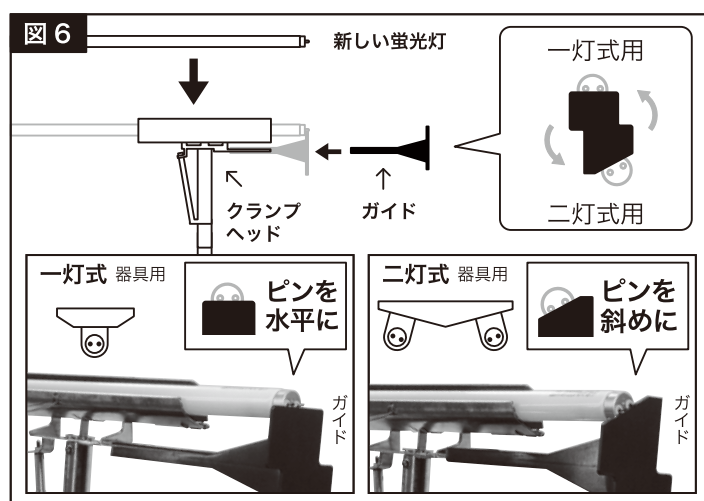
蛍光灯を押しこみながら、「サポーター」の付いてる方をはめ込みます。(図 8 参照)

⑥ ランプチェンジャーをはずす

ポールを床に着けた状態でひもを引張り、充分にクランプヘッドが開いた状態でポールと一緒に握り、蛍光灯を外します。

⑦ サポーターをはずして終了

ひもを引張って、外します。



⚠ 蛍光灯取付終了時の注意

- ランプチェンジャーを蛍光灯から外す時、クランプヘッドから確実に外れているか注意してください。(確実に外れていないと蛍光灯を破損することがあります。)
- 「サポーター」を外す時、当たらないように注意してください。